

# 胆石症

近年、食生活の欧米化による脂質摂取量の増加に伴い、胆石症の患者さんが増えています。日本人成人の約8%が胆石をもち、中年の肥満女性に多いといわれます。実際当院でも20人以上の方に胆石があります。



## 原因

胆汁は脂肪の消化吸収に関わっており、肝臓で作られて胆のうに蓄えられています。

胆汁の主成分は、胆汁酸とコレステロール、ビリルビンです。胆石ができる原因ははっきりと解明されていませんが、脂質の多い食生活は、胆汁中のコレステロールの割合が増加し、胆汁中で溶けきれないコレステロールは析出し、胆石の原因になると考えられます。また、ビリルビンが上昇する特殊な状況（溶血性貧血、肝硬変、胆道感染など）は、ビリルビンを主体とした胆石の原因になります。したがって胆石は、コレステロール結石とビリルビン結石に分れます。

## 種類と症状

### 胆のう結石

胆石の80%が胆のう結石で、その大部分がコレステロール結石です。急性胆嚢炎の典型的な症状は、右季肋部痛や心窩部痛、吐き気・嘔吐、発熱です。胆のうが収縮するときに胆石が移動して、胆のうの出口に胆石が詰まると、激しい腹痛が起こることがあります。これを胆石発作と呼びます。

### 総胆管結石

胆のうから続く胆のう管と、肝臓から続く肝管が合流した総胆管にできた結石です。これらの多くは胆のう内にできた胆石が、総胆管に流れ落ちたものです。結石が総胆管に詰まると胆管炎を起こし、上腹部に激痛を感じます。また、黄疸や発熱を伴うこともしばしばあります。

## 診断

腹部超音波検査、胆道造影X線検査、CT検査を行います。内視鏡検査を用いて、胆管の十二指腸への出口（十二指腸乳頭）からチューブを入れて、胆管を逆行性に造影する、内視鏡的逆行性胆膵管造影法（ERCP）が行われることもあります。

## 治療

### 生活の改善

症状のない胆のう胆石症には治療の必要はありません。また、脂肪の多い食事をひかえることで、痛みの予防ができます。

### 手術と薬物療法

胆のう結石に対する治療は、内科的には結石溶解療法や体外衝撃波結石破碎術（ESWL）、外科的には腹腔鏡下胆嚢摘出術があります。胆のう結石による胆石発作を繰り返している方、急性胆のう炎や胆管結石を発症した方は、外科的に胆のう摘出術を行います。

### 胆道と周辺の臓器

